

「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン」助成決定団体一覧

京都府共同募金会

令和2年 12月 25日 現在

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
1	ハイどうぞ子ども食堂	京都府京都市	ハイどうぞの子ども食堂に通ってくる子どもと保護者の為の配食事業	新型コロナウイルスの影響も含めて、様々な事情により、食事をはじめとする日常生活において困難を抱える子供や保護者を対象に、従来行っている「ハイどうぞ」を拠点に、感染予防や食中毒防止の対策を取った上で弁当形式の配食を行う。	40,000
2	上六人部地区福祉推進協議会	京都府福知山市	コロナウィルス感染症支援活動「子供と高齢者へ食品を！」	コロナウィルス感染症防止にかかる外出自粛等で、地区内の食事に難儀している子ども家庭、及び食品等の買い物に困っている高齢者家庭に対し、ささやかな食事の提供を企画したが、時期的に弁当などの配食は食中毒の恐れがあり、食卓へのカップ麺や冷凍食品などの災害保存食としても役立つ食料品、及び子どもたちにはおやつも含めて・小学生、及び中学生(地区在住)全員・75歳以上世帯(一人及び夫婦世帯)に対し、福祉協議会役員が各家庭に配達したものを。	72,000
3	つなぐ~みんなのひみつきち~	京都府宇治市	「つなぐ訪問事業」 ※6月からは上記「連絡先住所」と既存の活動場所を併用し、人数制限を行い、子ども食堂の通常活動を再開する予定。	毎週水曜日・土曜日に上記「連絡先住所」を拠点として実施。ひとり親家庭を対象とし、お昼にお弁当や手指消毒液、マスク、お菓子、学習プリンを提供を行う。その他、子ども達の生活の様子や困りごと等の相談に応じる。	300,000
4	NPO亀岡人権交流センター	京都府亀岡市	こどもランチ応援隊 ~ひとり親、多胎、虐待経験のある親子や食物アレルギーをもつ子どもたちのための配食・生活物資提供事業~	ひとり親や多胎世帯、生活困窮や虐待経験のある親子等ハイリスク世帯、食物アレルギーをもつ子どもたちを対象としています。 活動頻度：水曜日、木曜日、金曜日 提供する物：食物アレルギーフリーの手作りのランチ900食、おむつや液体ミルク、朝食用のパン、牛乳など	292,000
5	南山城学園	京都府城陽市	休校中の子どもたちへランチボックスを販売	障害者就労移行支援事業所『さびゆいえ』の運営する食品工房で作成したランチボックス(弁当)を、法人が所有する3つのカフェで100円(通常価格500円)で販売する。管理栄養士が監修のもと、休校中で偏りがちな昼食を栄養バランスに配慮した弁当を提供することで、子どもたちの健康面、母親への家事負担軽減への支援を実施する。	300,000
6	子育て支援ぼちぼちステーション	京都府長岡京市	・子育て広場、子育て出張広場 ・市内のテイクアウトメニューを子育て世帯に無料で配達	乳幼児、小中学生、その保護者に、遊びや交流、活動を制限されている子どもや保護者のストレスの軽減小動物や草花とのふれあい等、三密を避けながらの居場所提供(事業所および出張広場)したり、遊びや運動の機会の提供(体操や戸外での遊び、イベントとしてハイキングや野山の散策)。 また、特に支援の必要な家庭への個別支援(個別相談、食事の提供、入浴支援、学習支援、在宅勤務中の見守り支援)や、長岡京市内の飲食店のテイクアウトメニューを一人前でも宅配する。依頼があれば買い物代行も行う。	272,000
7	ほっとはあとセンター	京都府京都市	ほっと♡おもたせ (ほっとはあと おもたせ)	新型コロナウイルス感染の影響により日常生活に困難を抱える子供と家族の支援活動として、こども食堂等の会場に集合出来ない子供たちに対して、お弁当等の持ち帰りを実施しているこども食堂等へお菓子バックをお届けして、お弁当とともに、子供たち一人1パックのお菓子を持ち帰ってもらう事業を実施している。	300,000
8	嵐山こども食堂	京都府京都市	嵐山こども食堂(こども食堂)に通ってくる人達の為の配慮事業	右京区にて4月より新型コロナウイルス流行を鑑みお弁当持ち帰りのみで実施。各地でこども食堂の閉鎖や中止が相次いだ為、伏見区や山科区からも買いにこられる方がいる。	210,000
9	藤ノ木学区民生児童委員協議会	京都府京都市	藤の木子どもキッチンでお腹いっぱい！ みんな一緒に食べよう！	向島藤の木小学校の児童を対象に、城南児童館でお弁当の提供。 7月は学校給食が休みになってから2回(7/22、7/30)8月は保護者の負担減少を考え2回(8/4、8/21)9月19日(土)を予定。	170,000

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
10	向島ニュータウン中学生学習会	京都府京都市	塾に行けない、家庭内で勉強する環境がない中学生に対して、高校進学に向けて学習支援サポートを行います。	向島ニュータウンは、築後40年以上を経た現在、超高齢化、孤立死、少子化、一人親世帯の増加、育児放棄、貧困化、要支援世帯の増加など様々な問題がおきている。とりわけ、小、中学生を取り巻く環境として、経済的理由で学習塾に行けない、家庭内で勉強する環境がないなどの課題を抱える家庭があることが明らかになっている。そのため一部の中学生については、勉強についていくことが難しくなり、高校進学を諦めてしまう等の課題もある。これらの課題を解決するため、ニュータウン内にある空き店舗を活用した京都文教大学のサテライトキャンパスでもある、マイタウン向島（通称MJ）で、学びの場を確保し、夢に向かって未来を築くサポートをしている。今年度当初は、コロナ禍にあって活動も残念ながら中断したが、8月17日より再開した。感染防止にも最大限に配慮しつつ、学習の遅れも取り戻すべく支援活動を行い、中学生も熱心に学習に動いている。	260,000
11	ひろのこども食堂	京都府宇治市	「ひろのこども食堂に通ってくる子供達の為の豊かな居場所作り、配食事業」	孤食をしている子供、子育て世帯で時間に追われる家族、日常生活に困難を抱える子どもと家族、高齢世帯の方などを対象に行う。天理教中背大教会の敷地内を拠点として、食事やおやつ提供（コロナ禍によりテイクアウト形式にて）、ソーシャルディスタンスを確保して、広場を開放しての遊びなど。花火など。（8月に予定していた学習支援は、コロナウイルス感染者が激増し中止）楽しい時間と美味しい食事、免疫力UPの一助となれば幸いである。	64,000
12	特定非営利活動法人 働きたいおんなたちのネットワーク	京都府宇治市	「放課後の家」に通ってくるひとり親家庭のこどもたちのための学習、食事、入浴などを支援する事業。	ひとり親家庭のこども（主に小学校高学年～中学生）を対象に、大学生による宿題等の学習支援（主に宿題）、塾に通わせる余裕がない家庭の子どもたちのための英語やプログラミング等の教室開催。生活支援として、食事作り、入浴（シャワー）、お風呂洗いのほか、こどもの相談（大学生やスタッフがこどものつぶやきに耳を傾ける相談）、送迎時の親の相談（リスクが大きくなる前の隙間相談）、ひとり親家庭向けの支援情報を提供している。	40,000
13	特定非営利活動法人 安心サポートセンターNewFamilyママズ&パパス	京都府城陽市	ひとり親家庭だけでなく、みんなで参加子ども食堂	ひとり親家庭の年長から、発達障害の子どもを抱える家庭をメインに地域の高齢者との交流も加えての子ども食堂、子どもの居場所を実施していたが、コロナによる三密を避けるため3月以降休んでいたが5月から弁当による配食を週3回で実施しています。年内には集まっても良いような子ども食堂を再開したい。	300,000
14	特定非営利活動法人 優人 優人deこども食堂	京都府城陽市	優人deこども食堂での孤食防止事業及び駄菓子屋・集い場を通したこどもの居場所提供	主として、当事業所に隣接する小学校区にお住まいのご家庭に、作る・見る・食べる・喋る・楽しむ、をモットーに、子供達との共同調理を通じて、一緒に食べる楽しみを感じてもらおう。また、理事長とその妻共に取得している社会福祉士・精神保健福祉士を活用し、日々の関りの中で生活の困りごとや抱えている悩みなどの相談窓口としても対応できるようにする。このような活動を継続することで、こどもの居場所をつくっていく。	180,000
15	久御山町母子寡婦(さつき)会	京都府久世郡	「お元気ですか！！みんなで共にならぼう！」	母子寡婦共に新型コロナウイルス感染症の影響により、社会生活が立ち行かなくなっている現状を踏まえ、孤立を防ぐ観点から手作り弁当でみんなの心をいやしたい。	70,000
16	社会福祉法人京都いのちの電話	京都府京都市	京都いのちの電話	「京都いのちの電話」は1982年4月1日、日本で14番目の「いのちの電話」として開局、85年4月からは365日24時間眠らぬダイヤルとしての活動を続け今年で38年になる。相談受付件数は年間約2.2万件、養成訓練を受けたボランティア相談員が交代で担当している。また、厚生労働省補助事業として「自殺予防いのちの電話」（日本いのちの電話連盟主催）にも参加している。わが国の自殺者数は一時減少傾向にあったが、このコロナ禍によりまた増加している。私どもの相談電話でも自殺を考えておられる方からの電話は多く、いじめ、虐待、生活苦や人間関係、孤独孤立、生きづらさ、コロナ禍での不安など、昼夜を問わず電話が鳴り続け、様々な深刻な辛い思いが寄せられている。相談員は、ひとりひとりの存在が大切にされ自分らしく希望を持つことのできることを願いながら電話の前に座り、辛い思いを抱えておられる方に寄り添い、少しでも心が軽くなれるよう、よりよい聴き手としての研鑽を続けながら相談電話に取り組んでいる。	300,000
17	ほっとマナ	京都府京都市	「ふれあいマナ食堂」を通して、子どもの居場所づくりと、地域との連携の中で活動を進めています。	「ふれあいマナ食堂」（子ども食堂）を月1回、「学びサポート」（学習支援）を毎週水曜日、「ジョイフルマナ」（自由遊び&駄菓子屋さん）を月2回、食事・学び・遊びの3つを子ども支援の入り口としている。対象者は、子どもとその家族、地域住民で支援の必要を覚えておられる方。	100,000

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
18	わかかさカフェ	京都府京都市	日ごろお世話になっている方々に感謝を伝えたい「お礼の品を企画制作して手渡す」プロジェクト	上京区・YWCAで開催しているわかかさカフェは、自立援助ホーム入所～退所者や大学生が中心となって毎月2回の交流と7回程度のワークを展開している。今回の企画では、ワークで学んだ技術やそれぞれの得意分野を生かして、小物やケーキ、クッキー等をつくり、イラストとメッセージをつけて、活動を応援してくれるみなさんや、食堂を利用していただく方々に提供しようというもの。単に作るのではなく、商品のコンセプト、企画をもとに制作することにより、自分の企画が商品化する喜びを体験するとともに、協力して作業することでコミュニケーション力を養い、就労への意欲の向上につなげたい。	100,000
19	京都Tera.Coya	京都府京都市	京都Tera.Coya子ども食堂を利用する世帯への配食事業及び該当地域における子どもの学習支援並びに居場所づくり事業 毎回、左京東部いきき活動センターで開催	左京区養正地区を中心に大学生が中心となり、ひとり親世帯・学習困難な家庭の子どもに対して、子ども食堂の展開、学習と体験をテーマにした学習支援を行う。また学習だけではなく、体験を通して学べる機会を定期的に開催する。今年度は感染の防止を第一に考え、テイクアウト形式の子ども食堂を開催し、新しいコミュニケーションの取り方や、様々な経験をできる場をつくることで自己効力感や自己肯定感を養って行く。	100,000
20	ちいさな子ども食堂 実行委員会	京都府京都市	子どもや親子が気軽に参加でき、子どもたちが健やかに育つ環境をつくる一環としての子ども食堂	朱八学区に地域において、子ども食堂に取り組み、子どもや親子が気軽に参加できる場所を提供する。子どもが困ったときに声をかけたり、悩みを相談できる関係を築くことで、子どもが健やかに育つ環境をつくる。子どもだけでなく、参加者対象者を限定しないで、広く参加を呼び掛ける。コロナ禍のもとで、子どもたちの集団のあそびやついでができにくくなっているもとで、感染予防をおこない積極的にとりくみたい。初めての試みであり、不安も大きいボランティアの力を借りて少しずつ取り組みたい。当面は月1回程度のとりくみとしたい。8月から、準備会を兼ねた実行委員会を3回開催し準備をしてきた。	100,000
21	東山協立スクール (SCHOOL)	京都府京都市	子どもたちの居場所づくり事業として毎回食事の提供と遊びの場、学習支援等を行っている。	京都市三条福祉センター、東山いきき市民活動センターを拠点に、東山区の子どもたちを対象に、子どもの居場所づくり、食事提供、学習支援を実施。コロナ禍で一時期は休止するも、子どもたちの孤立を防ぐためいち早く活動を再開しています。	100,000
22	小野学区自治連合会	京都府京都市	子ども食堂ゆたか成長期の食育を通じて心身共にゆたかなれる事業	今、子ども達を囲む環境は様々で、貧困・ひとり親・共働き・虐待・育児放棄や、このコロナ禍で世帯収入の低下など、影響が出るのは大体が弱者である。給食だけが唯一のまともな食事の子も中にはいるが、幸いにも、学区内の飲食店が子ども食堂の協力を申し出て頂いたので調理師、衛生管理責任者はプロに任せることができた。今は、学校給食のない日にお持ち帰り弁当を安価で提供しているが、新型コロナ感染症の状況をみながら、店内提供に移行したいと思っている。店内提供に移れば、保護者の方にも提供できるようにし、より一層子ども達と接する機会も増えるので、小さなSOSのサインを見つける事や、保護者の子育ての孤立も防げるのではないかと考えている。	100,000
23	特定非営利活動法人 happiness	京都府京都市	ハビネス子ども食堂／学習支援	唐橋小学校に隣接する唐橋文化会館で、生活困窮世帯やひとり親世帯といった家庭環境に関係なく、子ども達がすくすくと育つために、子ども食堂や学習支援を行っている。親や行政、地域、企業、関係団体と連携し、地域に根差した取り組みになるように努めている。	100,000
24	南太秦自治連合会	京都府京都市	地域食堂（実施対象事業10月25日お好み焼き、12月20日クリスマスケーキ作り）	お一人住まいの高齢者の方々と、コロナ感染による生活困窮に陥り、子ども達と楽しい食卓が囲めない、小学生親子を対象に地域食堂を開催し、出来るだけ孤独にならないよう、また、引きこもらないように高齢者と子供親子が交流し、温もりを感じ取れる楽しい会話の中で食卓を囲み、一時でも寂しさから解放されることを願い、自治連合会が中心となり活動をしている。	50,000
25	母子生活支援施設 野菊荘 こもれび	京都府京都市	ひとり親家庭等サポートセンター こもれび	母子生活支援施設を母体に、サポートを必要とされる子育て家庭やひとり親家庭を対象に、相談・支援を行っている。また、様々な取り組みの柔軟な活用を通し、利用者、利用児との関係構築を図り、切れ目なく緩やかにつながり、総合的、包括的支援を行っている。コロナ等で経済的な事情等を抱え、生活困窮する家庭と交流が途絶えないよう、食材提供で生活を支え、交流し関係構築を継続していく。	100,000
26	ダイニングあんさんぶる わこう	京都府京都市	孤食になりがち子どもたちと共に、ボランティアや地域住民と食事や遊びを通じて交流を図る事業	ダイニング あんさんぶる わこうは、ひとり親家庭・共働き家庭の中で孤食になりがちな春日野小学校の児童を対象に、南山城学園 障害者デイサービスセンターわこう内でこども食堂を運営している。こども食堂では、一人ひとりの子どもたちが安心して過ごせる地域コミュニティづくりをおこなっている。また、こども食堂には南山城学園の利用者も参加しているため、障害のある方との交流を通じて、障害を含めた人権問題等の理解の促進に努めている。	100,000

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
27	藤森学区社会福祉協議会	京都府京都市	藤森ふれあい子どもひろば 「様々な環境にある子ども達の居場所を作り、地域の中で大切に育てることを目的にしています」	月に1回程度、藤ノ森小学校の特別交流教室で開催しています。地域の方々が見守る中、クラブ活動終わりの小学生などが足を運び、子ども同士の交流、子どもと大人の交流をしながら食事をしたり、楽しく遊んでいます。	50,000
28	MJキッズキッチン実行委員会	京都府京都市	子どもたちが、地域のボランティアや学生ボランティアと一緒に買い物から調理まで行う交流と安心して過ごせる居場所づくり活動を目的とするこども食堂。	様々な家庭環境や個食の状態にある子ども達に、皆で食事をすることの楽しさを知ってもらい、食事を通じて人とのつながりが生まれ、安心して過ごせる居場所になってほしいと考える。 月に2回程度開催して、子ども達が買い物から調理まで協力して行き、和気あいあいと食事を囲みます。食事の後は学生ボランティアとともに室内ゲームや公園の散策などを楽しんでいる。	80,000
29	笑人 Wa-Road	京都府京都市	笑人カフェどんげね？ ～子ども食堂～	外食するのに躊躇するハンデのある子どもたちを中心に、プロの職人が安全・安心の食事を提供する。	100,000
30	京都市社会福祉協議会	京都府京都市	『子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業』における研修・交流会	市内で子どもの居場所を実践している団体を対象に、市域・区域において実践団体が抱える課題等をテーマとした研修、および実践者同士の交流の機会を提供する。	200,000
31	京都府社会福祉協議会	京都府京都市	子ども食堂運営者や児童福祉関係者のための研修や交流の場づくり	・子ども食堂や子どもの居場所づくりに関わる実践者の活動交流会を地域別（京都市内3ブロック）に開催し、活動や課題の交流を図り、子ども食堂や居場所の運営を支援している。 ・児童養護施設や障害のある子どもへの支援施設の職員等を対象とした研修会を開催し、社会的養護が必要な子供たちや、療育・地域生活のための支援必要とする子どもたちを支えるソーシャルワーカーの専門性を高めている。	200,000